

### 3月9日 全校朝会【校章に込められた思いを引き継ぐ】

おはようございます。

金曜日の6年生を送る会は、全校児童の皆さんの「一生懸命」「思いやり」「プライド」がたくさん感じられた心温まる会となりました。

その中で、6年生の代表委員から5年生の代表委員に校章旗の引き継ぎがありました。6年生の言葉からは、よき伝統を引き継いでいってほしいという思い、5年生の言葉からは伝統を引き継ぎ発展させていこうという決意を感じました。

伝統のシンボルとなっている校章旗は、今から71年前の昭和30年に校章が決まった時につくられました。



校章旗の真ん中にはこのように校章が描かれています。この校章は、何をデザインしたものなのか、みなさん分かりますね。「ひまわり」です。志六小ができた76年前は、学校の周りは田んぼや畑が広がっていました。その当時は草が生い茂るなど、道も悪かったようですが、志六小の子どもたちは下駄ばきで元気に通ってきたそうです。苦しさや物不足に打ち勝ち、明るく太陽に向かって伸びてほしいという願いを込めて、「ひまわり」の花をかたどった校章ができました。

校章のデザインに決められた「ひまわり」の花は、一つの大きな花に見えますが、実は、1000以上の小さな花が集まって一つの花のように見えているのです。志六小も、子どもたちや先生方みんなが協力して一つの学校をつくっていますね。

6年生から引き継いだ伝統を大切にして、私たち一人ひとりが生き生きと輝き、力を合わせ、ますます、「わくわく」「楽しい」学校にしていきたいと思います。

これでお話を終わります。